

## 平成 27 年度 男女共同参画講座 (全 4 回) 「事業プランづくり実践講座～あなたの思いをカタチに～」



男女共同参画の視点を活かした活力ある地域づくりや問題解決のための事業プランづくりを通じて、地域における実践活動のコツを学ぶ講座を4回にわたり開催しました。(参加者：5人)

日時：平成 28 年 1 月 23 日 (土)、2 月 6 日 (土)、13 日 (土)、27 日 (土)  
講師：大森昭生さん (共愛学園前橋国際大学副学長・教授)  
講師：引間紀江さん (国立女性教育会館事業課・専門職員)

### 内 容



【第1回】講義「事業プランづくりのポイント」  
講義「男女共同参画の視点で考える3つのテーマの背景」  
グループワーク「課題の共有とプランテーマの決定」



【第2回】グループワーク  
「事業プランづくり」

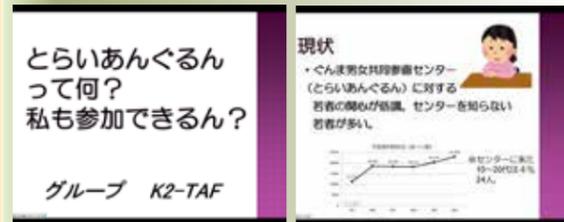


引間講師 大森講師



【第3回】グループワーク  
「事業プランづくり・まとめ」

### 発 表



【第4回】プレゼンテーション・  
講評・終了式

### ●受講者の声●

・参加者が少なかったのは残念でしたが、お互いに意見交換が出来たのはよかったです。



講師と受講者たち

### 男女共同参画講演会

## 「女性の参画と防災・減災 ～女性の視点で災害に備える～」

日時：平成 28 年 2 月 5 日 (金)

講師：赤羽潤子さん (NPO 法人わんだふる代表理事・  
日本防災士会群馬県支部副支部長)  
共催：群馬県地域婦人団体連合会



災害を女性の目線にとらえ、日頃の準備品や被災時の留意点、地域の中で何ができるのかなど、防災・減災に対する基礎的な知識と心構えを学びました。(参加者：94人)

### ●受講者の声●

・災害に対する心構えが変わりました。  
・防災ラジオ、ハザードマップなど災害に対する必要情報が得られてよかったです。  
・防災に対する認識を持つことの大切さがわかりました。



## 「家族のコミュニケーションをUP! 親子料理教室」

日時：平成 28 年 2 月 21 日 (日)

講師：星野かをるさん (管理栄養士・スポーツプログラマー)  
共催：私たちの未来を考える会 (平成 26 年度実践講座修了生有志)



家族一緒に料理をすることで、コミュニケーションをアップし、男性の子育て・家事参画につなげるセミナーを開催しました。参加者は家族で協力しながらハンバーグ、豚汁、おにぎりなどを作りました。(参加者：22人)

### ●受講者の声●

・家では、家族みんなで料理をしたことがなかったので、参加してとてもよかったです。・いつも作っている料理に、ひと手間かけておいしく作れたので、家でも試したいです。



## もっと知りたい!女(わたし)のカラダ in ぐんま 「～自分のカラダとココロを大切にするために～」

女性が自分の人生を主体的に生きるためには、自分の身体を正しく知り、大切に思えることが必要です。このセミナーでは、生涯にわたる女性の身体と心の健康やホルモンバランスについて、各講師からお話を伺いました。(参加者：72人)

日時：平成 28 年 1 月 24 日 (日)  
共催：ウィメンズセンター大阪  
協賛：大塚製薬株式会社



### ●講演会

「女性のカラダとホルモンバランス」  
講師：佐藤雄一さん  
(産科婦人科 舘出張 佐藤病院院長)



### ●講座

「からだココロの自己決定権  
～私のからだは私のもの」  
講師：谷田寿美江さん  
(ウィメンズセンター大阪スタッフ)



●ブチ講座：「エクオールと腸内  
細菌チェックについて」  
講師：細谷吉勝さん  
(ヘルスケアシステムズ)



●笛子(ディーズ)  
ミニコンサート  
演奏：森本有紀子さん

## キャリアアップネットワーク支援事業「とらいあんぐるんサロン」

日時：平成 27 年 12 月 19 日 (土)

演題：「多様な時代を生きるためのキャリアデザイン&コミュニケーションレシピ」  
講師：工藤敬子さん (株式会社フェードイン代表取締役、コミュニケーション&ワーク・ライフバランスコンサルタント)



センターでは、世代や職域を超えたネットワーク作りと女性のキャリア形成を支援する事業を実施しています。今回は、自身のライフデザインを考えるとともに、社会やプライベートで「楽に生きる」ためのベーシックなコミュニケーションとマネジメントスキルを学ぶセミナーを開催しました。(参加者：21名)



まめ知識

## 男女の地位の平等感にはまだ遠い・・・

日本では、『夫は外で働き、妻は家庭を守るべき・・・』などの性別役割分担意識が、まだまだ根強く残っています。

内閣府の世論調査によると、男女の地位が平等と感じている人の割合は、平等感が最も高い「学校教育の場」でも7割に達しておらず、あらゆる項目で、『男性の方が優遇されている』と感じている人の割合が、『女性の方が優遇されている』と感じている人の割合を大きく上回っています。

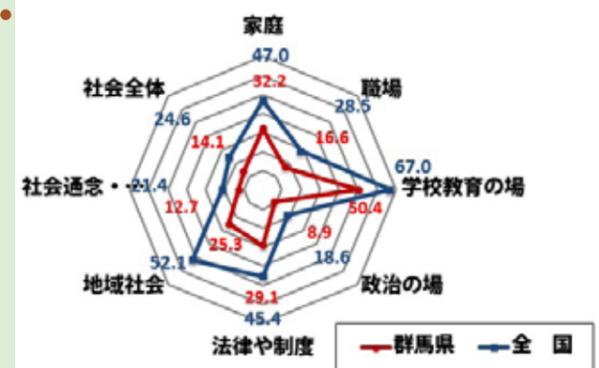
また、本県の県民意識調査では、

男女の平等感には更に低くなり、「政治の場」に至っては1割にも満たない状況です。

一方、調査結果を男女別に見ると、総じて、男性よりも女性の方が不平等感を強く感じている様子がうかがわれます。

女性の活躍に期待が高まる中、女性が不平等感を感じることなく生きられる社会、そして男性にとっても生きやすい社会が、一日も早く訪れるよう強く願っています。

### 男女の地位が平等と感じている人の割合



(出典) 群馬県：男女共同参画社会に関する県民意識調査 (平成 26 年度)  
全 国：男女共同参画社会に関する世論調査 (平成 24 年度)